

2022年9月1日
株式会社日立ハイテク

熱分析装置向け「データ入出力サポートオプション」を販売開始

測定条件入力からデータ管理までのサポート機能により、信頼性向上に貢献



【バーコードリーダーによる測定条件の自動入力と自動入力後のソフトウェア画面】

株式会社日立ハイテクサイエンス(以下、日立ハイテクサイエンス)は、このたび、熱分析装置の測定条件入力の自動化とデータ管理サポートを実現したオプションソフトウェアである「データ入出力サポートオプション」(以下、本製品)を日本国内向けに販売開始いたします。各種材料の品質管理現場において、多品種・多検体の試料を熱分析装置によって分析する場面が増加する中、本製品の提供を通して測定・解析現場における課題の解決に貢献していきます。

■本製品開発の背景

熱分析装置は、物質の熱に対する基本的な性質(熱物性)を測定する装置です。熱分析では、吸発熱量、質量、体積、弾性率などさまざまな項目の加熱時の変化を測ることができ、各種材料の研究開発だけでなく品質管理や検査用途として熱物性評価に幅広く利用されています。

近年、材料の品質管理や検査を目的とした熱分析装置の活用が広がり、多品種・多検体を扱う場面が増えてきています。そうした中、熱分析装置は試料毎に加熱時間や加熱速度などの測定条件が異なるため、入力ミスや解析読み取りミスなどのヒューマンエラーが発生するおそれがあります。また多検体の場合は、膨大な入力作業や測定結果の蓄積管理などに手間や時間がかかるといった課題がありました。そのため、ミスの無い測定条件の入力や、多数の測定結果に対するデータ管理が容易なソフトウェアが求められていました。

■本製品の概要

今回発売する「データ入出力サポートオプション」は、測定条件の自動入力と、お客様の検査管理項目および測定結果のデータ管理サポートを実現した熱分析装置のオプションソフトウェアです。このオプションソフ

トでは、今まで手入力していた測定条件を試料に紐づけされたバーコードなどの識別情報からバーコードリーダーで読み取ることで自動入力を可能としました。また、日立ハイテクサイエンスが販売している「自動解析ソフト」*1 と併用することで、測定後の自動解析に加え、お客さまの管理情報と解析結果をセットにした管理のしやすい形式で出力することができます。測定条件設定のヒューマンエラーを防止するとともに、解析結果のデータ管理がより簡便になることで、お客さまの品質管理、研究開発における信頼性向上に貢献いたします。

本製品の主な特長は、以下の通りです。

【主な特長】

1. 測定条件の自動入力機能

試料に紐づけされたバーコード等の識別情報をバーコードリーダーで読み取ることで測定条件の自動入力を実現しました。この機能は、多くの検体を自動測定できるオートサンプラー使用時にも活用でき、測定条件入力時のヒューマンエラーの防止に貢献します。

2. データ管理サポート機能

お客さまが管理される検査項目、ロットナンバー、製品番号等の情報と熱分析データの解析結果をセットで出力する機能です。出力形式は CSV、Excel、テキストに対応し、解析結果の社内データ管理がより簡便になるため、お客さまが品質管理を行う上で信頼性の向上に貢献します。

なお、日立ハイテクサイエンスは、2022 年 9 月 7 日(水)から 9 日(金)まで、幕張メッセ国際展示場(千葉県)で開催される「JASIS2022」において、本製品に関する展示を行う予定です。

日立ハイテクサイエンスは、幅広い分野における研究・開発、品質管理業務を支え、人々の QoL 向上に貢献していきます。今後も、日立ハイテクグループは、「解析・分析」のコア技術を磨きあげ、注力市場における専用計測・検査ソリューションの創出をめざし、「環境・レジリエンス・安全安心」の分野における社会課題解決に貢献していきます。

*1 自動解析ソフト：測定終了後に自動的に標準 解析ソフトウェアを起動し、解析・プロット・解析結果の保存を実行させることができるオプションソフトウェア

■データ入出力サポートオプションについて

https://www.hitachi-hightech.com/hhs/product_detail/?pn=ana-dataso

■日立ハイテクについて

日立ハイテクは、2001 年、株式会社日立製作所 計測器グループ、同半導体製造装置グループと、先端産業分野における専門商社である日製産業株式会社が統合し、誕生しました。2020 年、日立製作所の完全子会社となり連携を強化していくことで、社会課題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現をめざしています。

医用分析装置、バイオ関連製品、分析機器、半導体製造装置、解析装置の製造・販売に加え、社会・産業インフラ、モビリティなどの分野における高付加価値ソリューションの提供を通して、グローバルな事業展開を行っています(2022年3月期日立ハイテックグループ連結売上収益は5,768億円)。

詳しくは、日立ハイテックのウェブサイト(<https://www.hitachi-hightech.com/jp/>)をご覧ください。

■お問い合わせ先

株式会社日立ハイテックサイエンス 分析開発設計本部 FS 第一設計部 [担当：西村]

〒410-1393 静岡県 駿東郡 小山町 竹之下 36-1

電話：090-2434-9662(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
